

仙台市みどりの基本計画2021-2030 中間改定(案)について



百年の杜づくりキャラクター

フォレツビ

建設局百年の杜推進課

目次

0. 仙台市みどりの基本計画2021-2030について

1. 中間見直しの検討経過

2. 前回審議会での意見と対応方針

3. 当初計画改定検討部会員からの意見

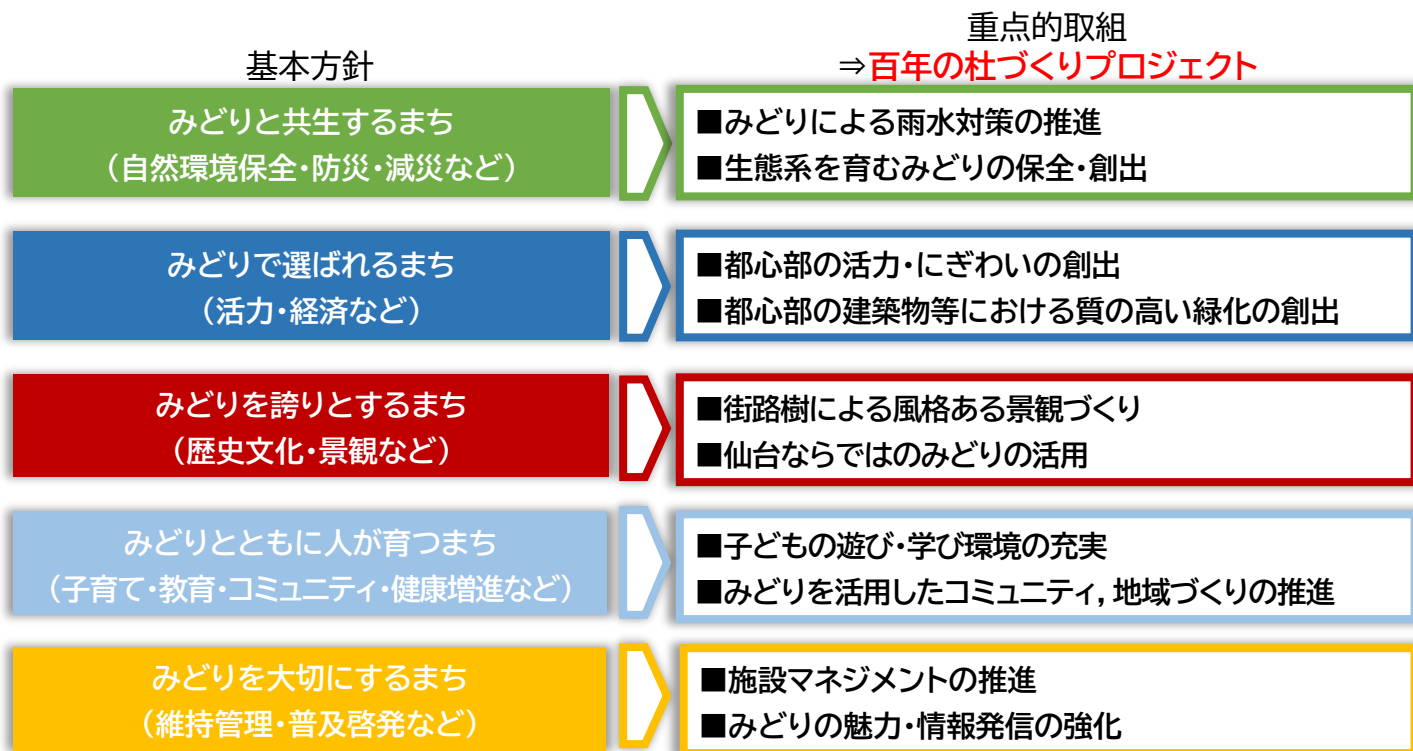
4. 中間改定計画(案)について・・・資料1-2、1-3



0. 仙台市みどりの基本計画2021-2030について

基本方針と百年の杜づくりプロジェクト

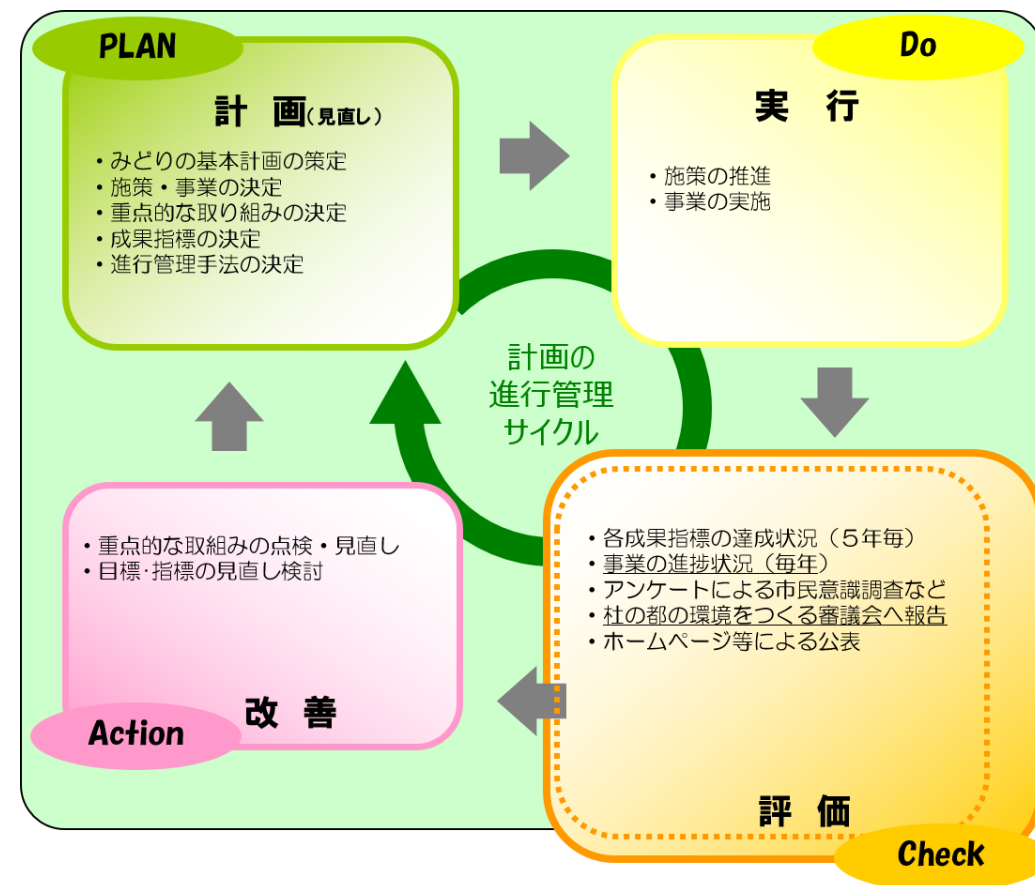
- ・基本理念を実現するため5つの基本方針を設定
- ・基本方針ごとに2つテーマを設け、計画期間内に重点的に実施する重要かつ緊急性の高い分野を「百年の杜づくりプロジェクト」として推進。
- ・各プロジェクトには成果目標を設定し、定期的に進行管理を実施



計画の進行管理

PDCAサイクルを採用し、毎年度各事業の進捗管理を実施するとともに、**中間年度（令和7年度）**には

- ・計画全体の指標 及び 5つの基本方針毎の指標 の達成状況の確認
 - ・各種調査（緑の市民意識調査、緑の分布調査、緑視率調査等）
 - ・審議会委員へのヒアリング
- 等を実施し、**中間見直し**を行う



1. 中間見直しの検討経過

杜の都の環境をつくる審議会

各種調査・市民意見聴取等

【第98回審議会】(令和7年1月17日)

- 計画の令和5年度までの進行管理を通し、中間見直しに向けた着眼点を整理・共有

緑視率調査(令和6年8月)

緑の分布調査(令和6年9月)

みどりの市民意識調査(令和6年10月～11月)

【第99回審議会】(令和7年6月4日)

- 計画の中間評価、見直しの方向性について確認

◆見直しの方向性

1. 上位計画である仙台市基本計画の基本理念「挑戦を続ける、新たな杜の都 ～The Greenest City SENDAI～」を実現させるため、本計画の基本理念、基本方針、取組みの姿勢は継続する。
2. みどりの持つ機能を、様々な分野の課題解決に活用し、本市のみどりの価値を高めるため、「ダイバーシティ」、「脱炭素(気候変動)」、「こども」、「観光」の視点を補足・強化し、施策の柱および施策に反映させる。
3. ネイチャーポジティブやカーボンニュートラル等に資する都市緑地の計画的保全と、緑地の機能を最大限に発揮させる管理・利活用を進めるための方針等の検討に取り組む。
4. 基本方針ごとの指標のうち、既に目標値に到達した指標については目標値を再設定するほか、上半期の実績や市民意識調査などの結果から得られた課題を踏まえ、指標の見直しを行う。

市政モニターアンケート(令和7年7月～8月)

市民ワークショップ(令和7年10月)

こどもいけん広場(令和7年10月～11月)

外国人居住者向けアンケート(令和7年10月～11月)



1. 中間見直しの検討経過

杜の都の環境をつくる審議会

各種調査・市民意見聴取等

【第102回審議会】(令和8年1月19日)

- 令和6年度までの計画の進行管理について報告(中間評価の補足)
- 市民意見の聴取状況について報告
- 中間改定計画(素案)について確認

市議会への報告(2月)

当初計画検討部会員
(小貫元委員、近藤元委員、渡邊元委員)
へのヒアリング(4月)

【第103回審議会】(本日)

- 第102回審議会での意見や、当初計画検討部会員からの意見を踏まえた計画の修正内容および対応方針について報告

中間改定計画策定



2. 前回審議会での意見と対応方針

■中間改定計画へ反映した意見(素案時点で示した対応を含む)

番号	委員名	意見	対応方針
1	渡部委員	街路樹の更新が、風格ある景観づくりに寄与していることが、市民に伝わりづらいと考える。街路樹の更新により樹冠が大きくなり緑被率が高くなる、管理コストが改善されるなど、わかりやすい説明をした方が良い。	中間改定(案)のP.107(基本方針3の重点的な取組み「街路樹による風格ある景観づくり」の説明文)において、「地域特性や道路空間等の植栽環境に応じた管理を計画的に推進する」という表現を追記した。また、街路樹を都市資源として活用していくための、街路樹更新の必要性については第3章4街路樹に関する配慮事項に記載している。
2	御手洗委員	ダイバーシティに関する記述が、他の柱と比較して希薄ではないだろうか。バリアフリーに対する満足度を調査するほか、ジェンダー別、年代別、国籍別の満足度を取り、多様性に配慮した計画とすることができる。	現計画の、「公園マネジメントの推進(P.182～)」において、バリアフリー化やユニバーサルデザインの推進について既に明記しているほか、中間改定計画(案)では、「仙台市ダイバーシティ推進指針」を関係計画として位置付け、基本方針4の重点的な取組み「みどりを活用したコミュニティ・地域づくりの推進」において、多様な人々の意見が生かされる交流を促進する取組みを追加している。 また、中間見直しの検討にあたっては、こどもや若者、外国人をはじめとする多様な立場の方々から意見を聴取している。
3	池邊委員	脱炭素に関して、森林や緑地の保全を図るべきとの市民意見が多かったが、実際に広瀬川や定禅寺通、青葉山公園の気温を計測し、気候変動対策として機能していることをアピールすることが必要だと考える。	中間改定(案)のP.50において、みどりの分布調査の際に計測した都心部の温度分布図を掲載した。

■ほかの意見

資料1-4「仙台市みどりの基本計画2021-2030(中間改定) 計画の実行に向けた配慮事項」のとおり、いただいた意見を踏まえながら計画に位置付けられた各種施策や事業・取組み等を進める。

3. 当初計画改定検討部会員からの意見

- 本計画の第4章2「進行管理」にもとづき、当初計画の策定に携わった「杜の都の環境をつくる審議会『みどりの基本計画』改定検討部会」委員にヒアリングを実施

番号	意見	対応方針
1	温度分布図を計画に掲載する際は、出典源となる写真の撮影仕様や、温度解析方法等について明記するとよい。	中間改定(案)のP.50に掲載した温度分布図について、出典源となる写真の撮影仕様や、温度解析方法等について追記した。
2	基本方針2の重点的な取り組みである「都心部・広域拠点の活力・にぎわいの創出」の説明文について、まちの拠点となる公園整備やエリアマネジメントに活用される公園づくりの推進の主目的が「新たなビジネスの機会創出」であるように見えてしまう。	本編P.7、P.94、P.97、概要版に記載されている説明文の末尾にある、「ビジネス機会の創出」と「まちのにぎわい」の文言の順番を入れ替える。
3	本編のP.98の広瀬川(大橋周辺)水辺利活用のイメージ図が何を示したいのわからない。	将来の水辺の利活用イメージがわかるよう、イメージ図を拡大のうえ、ダイアグラムを挿入する。
4	仙台市は小規模街区公園が非常に多いことを懸念している。地域の方と密なコミュニケーションをとりながら、地域の特色ある公園づくりに取り組んでいただきたい。	「身近な公園整備・再整備事業」において、公園の規模や利用者の年齢構成、地域のニーズに応じ、地域ごとに特色のある快適で利用しやすい公園へ整備を行うほか、「地域に根差した特色ある公園づくり」において、地域に応じた柔軟な利用ルールの設定などの支援し、特色のある公園づくりを行う。
5	若者向けワークショップの参加者数やこども向け、外国人居住者向けアンケートの回答者数が少ない。	今回の市民の意見聴取にあたり、これまで意見を聴取してこなかった属性の方にも聴取してきた。これらの属性の方への意見聴取について引き続き取り組む。

